

辺野古の海にも陸にも基地を造らせない！！ 11.24神奈川集会



稲嶺市政8年と名護市民の闘い 講演 翁長久美子さん

【おながくみさんのプロフィール】

稲嶺市政が誕生した2010年に名護市議会議員に初当選、現在2期目の与党議員紅一点。軍事特別委員会委員長。辺野古ゲート前テントでは「寝袋議員」と言われるほどの座込み行動の常連。「オール沖縄」の先駆けとなった名護市民の闘いを大いに語る。

七月二四日、沖縄県は民意を無視して強行される辺野古新基地建設の工事差止めを求めて提訴しました。裁判の行方とともに、来年二月の名護市長選、一月知事選が大きな焦点です。「辺野古の海にも陸にも基地を造らせない」一〇一〇年の初当選以来の稲嶺名護市長の公約です。市長は地方自治を蔑ろにした政府・防衛省の嫌がらせ、地域の分断策動に屈することなく、地域経済の活性化で名護市の財政基盤を盤石なものにしています。集会では市長と共に国策に抗い「オール沖縄」の要となつていく名護市民の闘いを、翁長久美子名護市議に報告していただきます。木元茂夫さんからは石垣島・宮古島の軍事要塞化の現状報告。日米軍事一体化が進み、辺野古新基地建設と宮古・八重山諸島への自衛隊配備は密接に関係しています。名護市民の闘いに支援を！辺野古の埋立てを許さず、琉球列島の軍事要塞化に反対しよう！欠陥機オスプレイを飛ばすな！配備の撤回を！

二〇一七年一〇月

宮古・八重山諸島の要塞化と日米軍事再編

映像と報告

木元茂夫さん (すべての基地にNOを！ファイト神奈川)

11月24日(金) 18時半

会場 横浜市開港記念会館 1階 1号室
(JR 関内駅南口 10分、みなとみらい線日本大通り駅 1番出口 1分)

資料代 500円

主催：島ぐるみ会議と神奈川を結ぶ会
代表世話人：仲宗根保・高梨晃嘉
連絡：檜鼻 携帯 090-7402-5245
深沢 携帯 090-4822-4798



キャンプシュワブ(8/12 琉球新報から)

辺野古移設反対80%

建設設計を得ずに工事を
 強行しており、県が岩盤破
 砕の差し止めを求めた訴訟
 を起こしたことについては
 過半数の54・9％が「支持
 する」と答えた。
 知事は「辺野川の新基地建
 設を阻止するため「あらゆる
 手段を用いる」とし、仲
 井弘多前知事が出した「
 一埋め立承認」を無効化
 する「承認撤回」を行おう
 針を明らかにしている。知
 事が明言を避けている撤回
 時期についても注目が集ま
 る。調査ではすでに撤回
 すべきが42・8％と最多
 で、その理由を重ね、い
 ずれは撤回すべき」は33・
 3％だった。

な事故

原因

為的なミス

中給油機のホースが切れ、
レードを損傷。別の1機は電
系統の故障で車輪が出ず

た。国は翁長雄志知事の岩
地建設の護岸工事に着手し
た。国は翁長雄志知事の岩
地建設の護岸工事に着手し
た。国は翁長雄志知事の岩

外「移設なしの撤去」を
合わせた「県内移設反対」
は80・2％となり5月の前
%だった。「県外と」国
回調査時より6割増えた。
政府は4月、辺野古新基
地建設の護岸工事に着手し
た。国は翁長雄志知事の岩

3%だった。



資料① 沖縄タイムス（九月二八日）

防衛省
県に移植許可申請へ

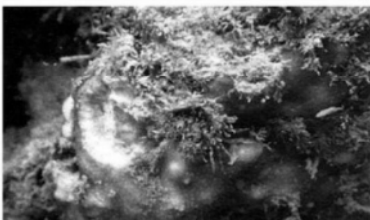
【東京】名詔市辺野古の新基地建設区域の辺野古側海域で、環境省が定める海洋生物レッドリストで絶滅危惧Ⅱ類の「オキナワマサongo」など14群体が見つかり、うち1群体が現在も生存していることが27日、沖縄防衛局の調査で分かった。13群体は死滅、消

失した。防衛局は28日に県へ説明した上で、生存しているサongoを移植するため近く、県に特別採捕許可を申請する。県は防衛局に照会を重ねるなど厳しく審査し判断する見通しで、工事に影響が出る可能性もある。

（2面に関連）

新基地建設海域で同レッドリストのサongoが見つかったのは初めて。長径6・5センチで移植基準に満たないが、防衛局は貴重種のため移植が必要と判断した。移植時期は10月・11月が望ましいとしている。同日、防衛省で開かれた第9回環境監視等委員会では防衛局が報告した。

「N5 護岸の着工に向け、陸上部分の工事を進めている。採捕許可が護岸工事着手に間に合わなくても、サングが護岸の直下になく生息環境を守ることが可能として当面の間、工事を進め



7月に辺野古側海域で発見されたオキナワハマサンゴ。現在も生きているが、部分的に白化が進んでいる。2名護市、9月18日撮影（沖縄防衛局提供）

することはできるといふ。しかし、工事を強行すれば、県が反発を強めるのは必至で対立が深まる恐れもある。

同レッドリストは今年3月17日に環境省が公表しサング類は15種が盛り込まれた。防衛局は6月26日（9月18日）にK1、N5護岸予定地の間で調査を実施。7月5日から同22日にかけてオキナワハマサング2群体、ヒメサング12群体が見つかったがほとんどが白化していたことから、8月18日に降再確認したところ、13群体が9月1日までに死滅または消失していた。

防衛局は、海域での工事はしていないとして影響を否定。死滅した原因を夏場の高水温が影響したと推測している。

普天間飛行場所属MV22 オスプレイの主な事故

発生日時	概 要	死傷者数	原 因
2013年 2月5日	離陸直後のオスプレイ機内から 容量1ℓのボトルが落下	けが人なし	人為的なミス
16年 12月13日	オスプレイ1機が名護市安部の海岸に墜落。墜落機を捜索していた 別の1機が普天間に胴体着陸	2人負傷	空中給油機のホースが切れ、 ブレードを損傷。別の1機は電 気系統の故障で車輪が出ず
17年 6月6日	伊江島補助飛行場に緊急着陸	けが人なし	警告灯が点灯
10日	奄美空港に緊急着陸	けが人なし	警告灯が点灯
8月5日	オーストラリア東部海上に墜落	3人死亡、 23人救出	不 明
28日	山口県岩国基地で、白煙を上げな がら緊急着陸	けが人なし	不明
29日	岩国基地を出た1機が大分空港 に緊急着陸。煙と炎が上がる	けが人なし	警告灯が点灯
9月29日	2機が石垣空港に緊急着陸	けが人なし	不 明